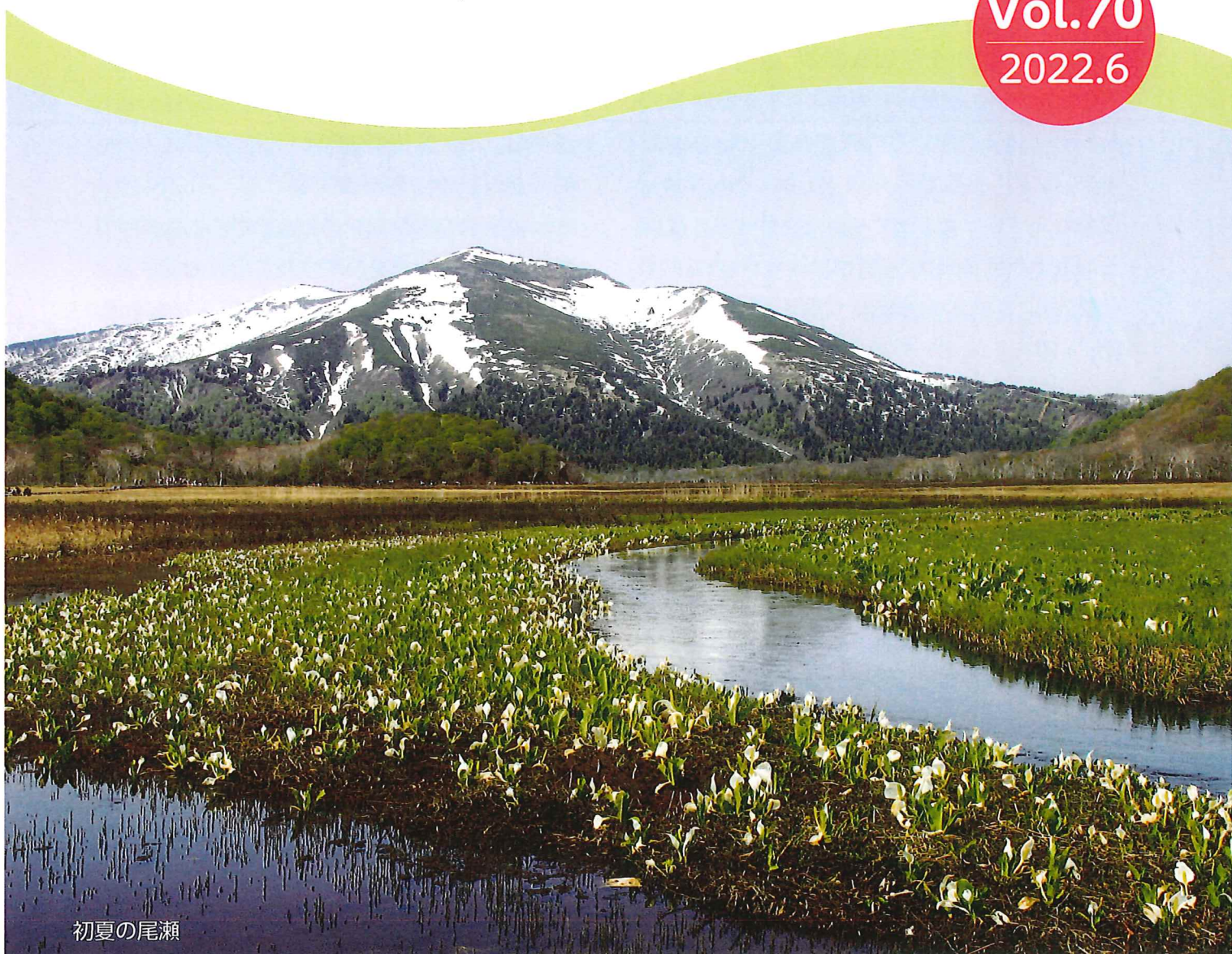




社会福祉法人

群馬いのちの 電話だより

Vol.70
2022.6



初夏の尾瀬

ひとりで悩まずに...

相談
電話

027-221-0783

相談受付時間 9:00 ~ 24:00 (年中無休)
毎月第2、4金曜日は **24時間受信**

フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」

0120-783-556

毎月10日 8:00から翌日8:00まで

ナビダイヤル **0570-783-556**

毎日 10:00~22:00 ※有料

いのちを支え合う

「いのちの電話」活動の種が最初に蒔かれたのは、1953年イギリスのロンドンでした。その種は、1971年日本の東京に蒔かれ、群馬いのちの電話にその種が蒔かれようと準備していたのは、1990年4月10日です。高崎カトリック教会で「第1回賛同者の集まり」が開かれ25人が出席しました。その時に決まったことは、先ず、“いのちの電話”を知ることに。そして毎回資金カンパを行うことでした。5月8日には20人が集まり第2回目の会合で、「いのちの電話の必要性について」の解説と質疑応答が行われた後、“いのちの電話”の名称を使うには連盟の許可が必要であること、使用申請をするには100名以上の賛同者、10名の世話人、代表者1名、養成講座等の計画、1000万円年間予算書を整えなければならないことの説明がありました。

1990年9月18日、「群馬いのちの電話準備発会式」が高崎教会で開催され22名が参加されました。お互いを知り合うゲームを楽しみ夕食を共にして、今後の活動について話し合いました。活動の初めは、事務所探し。事務所が見つかった後は、古い家屋の掃除と補修、備品の調達、必要な委員会の決定、1期生の募集、広報活動や維持会員の獲得等やらなければならないことが山積状態でした。

1991年7月6日に「群馬いのちの電話設立総会」が高崎労使会館で54名の参加者で開催さ

れました。その時は上毛、朝日、毎日の各新聞社や群馬テレビが取材に訪れました。そして、群馬いのちの電話に遂に種が蒔かれたのは1992年10月3日、全国36番目の開局でした。高崎センターで電話相談活動を7年間続けました。開局から5年後の1997年7月27日、初代理事長 徳江健氏就任時に「社会福祉法人」の認可を受けることが出来ました。1999年大家さんの事情で高崎センターを引き払わなくてはならなくなり、当時の理事長の女屋覚元さんの尽力で現在の前橋センターに引越しました。その後、前橋センターでは、2001年2月ホームページ開設、Eメール受信開始、2001年フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」実施、2014年相談員全国研修会ぐんま大会が磯部温泉で開催され500名の相談員が研修を受けられました。前橋センターで22年間活動を継続することが出来ました。

群馬いのちの電話の活動は、新型コロナウイルスに翻弄されながらも続けています。2021年4月15日から1か月半、相談活動、研修、委員会活動をすべて休止せざるを得ませんでした。相談員の休務、辞任も増え、実働相談員人数は140人と大幅な減少になりました（3月31日現在）。それでも何とか電話相談活動は続けています。

昨年の「第29期電話相談員養成講座」の応募が多くありました。近年にない26名が相談員養

30周年記念事業実行委員長 熊沢 幸雄

成講座で研修中です。各県のセンターでもたくさんの方の応募があったと聞いています。ニュースなどでいのちの電話がたびたびマスコミで紹介されたことが要因の一つと考えられます。

自殺が社会問題になりいのちの電話がクローズアップされると、相談員として様々な思いが交錯しますが、一本一本の電話を大切に私たちが出来ることを謙虚な気持ちで継続していきたいと思っています。どのような状況にあってもいのちの電話は、人生の危機に立って自殺をはじめ孤独や不安にさいなまれ、生きる希望や気力を失いつつある人々に対して、「電話での対話」を通してその人が自分自身を見直し、勇気をふるって再び生きぬいていこうとするために、援助を行うのが目的です。若者の自殺も一向に減りません。「電話での対話」だけでなく、若者は電話離れにより、インターネット相談を求め

ていると思います。今後の課題となります。また、相談員の高齢化に伴い休務や辞任が増えて来ています。相談員養成講座に応募して下さい、多くの方が相談員として一緒にいのちの活動を支えてくださることを希望しています。

開局から30年間、群馬いのちの電話に蒔かれた種は多くの皆様からの支えによってここまで来ることが出来ました。ご支援くださった個人、法人の皆さま、多くのボランティアの人たち、そして悩みを抱えて電話して下さった方々からも相談員はしばしば支えられることがあります。この活動を支えて下さった多くの方々に心から感謝申し上げます。これからも皆様一人一人の支えにより、種が生長し多くの地に蒔かれていくことでしょう。いのちを支え合う電話相談活動を一日一日着実に続けていきます。

群馬いのちの電話開局30周年記念公開講演会

2022年10月1日(土) 午後1時30分開演(1時受付開始)

昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館) 小ホール

「つながっている社会」を創る

講師：福田尚久氏(前橋高校から東京大学卒業後、米国ダートマス大学経営大学院修了。アップルコンピュータ(現アップル)の米国本社副社長を経て、現在は日本通信(株)代表取締役社長。前橋工科大学理事長)

